



2017~2018

津南ロータリークラブ週報

第2630地区 ROTARY CLUB OF TSU-SOUTH



例会日/毎火曜日
例会場/津都ホテル 津市大門7-15
事務所/津市大門10-7
ピッチャーズビル2階
TEL 225-2373 FAX 213-6175

会長/山田 俊郎
幹事/西井 健之
E-mail: src.tsu@dream.ocn.ne.jp
ホームページ: http://tsu-minami-rc.com/

第2515回例会 2018年3月27日(火) 天候 晴

—— 4月は母子の健康月間 ——



例会予定

- 4月3日(火) 会員卓話
「事業承継についてのトラブルチェック」
庄司 正樹会員
- 4月11日(水) 津・四RC合同夜間例会
津センターパレス 18:00~
ホスト: 津RC
4月10日(火) ⇒ 4月11日(水) 変更
- 4月17日(火) 地区研修協議会報告
- 4月24日(火) 外来卓話
名古屋文化短期大学非常勤講師
(元CBCアナウンサー) 何川真理子様

進行担当

[樋口SAA]

国歌斉唱 ロータリーソング それでこそロータリー

来訪者

[山田会長]

ゲストスピーカー 三村 高司様
(三村建築板金 代表者(建築板金師))
小河 正行様(茶庭師(裏千家))
津RC 清水 一男君

出席報告

[吉村委員長]

3月27日 出席率 46名中 33名 71.74%
3月13日 修正出席率 48名中 44名 91.67%

ニコBOX

[平出委員]

小河 正行様(裏千家 茶庭師) おじゃま致します。
清水 一男君 久方振りにお邪魔いたしました。
(津RC) 何とぞよろしくお願ひいたします。
山田 俊郎君 三村建築 三村高司様、外来卓話よろしくお願ひします。
西井 健之君 三村建築板金 代表者(建築板金師)
三村高司様、本日の卓話楽しみにしております。

会長報告

[山田会長]

- ◆先週、理事会において2009~2020年度中勢伊賀グループガバナー補佐に松田英明会員が選出され決まりましたのでご報告致します。
- ◆「競争社会」
この社会は競争社会と言われており、至る所に競争があります。しかし、様々な競争に身を投じていると、疲労困憊となってしまいうでしょう。出来ることなら、他人と競争するのではなく、他人に助けてもらいたいものです。他人が自分に無いものを持っているのであれば、その差を認めて、違いを受け入れていけば、競争関係が協力関係になるのではないのでしょうか。他人との差や違いを素直に受け入れられるかどうか、協力関係を築く為のポイントになるのではと思います。

幹事報告

[西井幹事]

- ★ 4月ロータリーレート 1ドル¥104
- ★ 内田祐仁会員退会の件
- ★ 台湾東部地震義捐金協力の件
(緊急対策特定資産より5万円送金)

委員会報告《社会奉仕委員会》

[庄司委員長]

- ゴミゼロ例会実施の報告
5月29日(火) ⇒ 5月27日(日)
阿漕浦海岸清掃及び伊勢湾海洋スポーツセンターにて例会開催

臨時理事会報告

- ・内田祐仁会員退会の件 承認

大川 吉崇君 本日の早退、三村様の卓話を拝聴できず、申し訳ございません。
栗田 明君 今日は、三村さん、小河さん、大変お忙しい中をありがとうございます。よろしくお願ひします。

竹内 敏明君 岡部さん、先日は大変有難うございました。

林 裕行君 小河正行様、三村高司様、遠路にもかかわらずお越しいただきありがとうございます。よろしくお願ひします。

伊藤 歳恭君 13時過ぎから隣の部屋で始まる法人会に出席のため、途中退席させていただきます。申し訳ありません。

庄司 正樹君 ・大川先生、大変お世話になりました。ありがとうございました。
・三村様の卓話楽しみにしております。

今野信太郎君 三村建築板金 建築板金師 三村高司様をお迎えして。本日の卓話よろしくお願ひ致します。

三村建築板金 代表者（建築板金師）
三村高司様をお迎えして、
伊藤 仁君、佐々木喬君、伊藤孝行君、刀根大士君
岡部宏司君、奥田邦雄君、山本哲也君、澤田勝志君
飯田 聡君、家田吉成君、日南田隆司君

新会員紹介



はね まさえ
羽根昌江

H30. 3. 6 入会

(株)はね調剤薬局
代表取締役
〒514-0837
津市修成町1-19
TEL 059-225-0202
FAX 059-225-0203

事業内容 調剤薬局

刀根大士会員、今西孝彰会員のご推薦により、入会させて頂きました。皆様との交流をさせて頂きます事に感謝申し上げます。どうぞよろしくお願ひ致します。

外来卓話

「茶室の屋根に関する板金の話」



三村建築板金 代表者
建築板金師 三村 高司 様

① 創業について

三村建築板金創業は、約80年です。26歳の時に父親が亡くなり後を継いで現在に至ります。今は銅板の仕事を中心にしております。

息子も三代目として跡を継いでおります。

② 銅屋根について

日本における銅と建築の始まりは、飛鳥・天平時代と伝えられており、主として宮殿や・神社・仏閣の主要部分・和風住宅屋根・門の屋根などに使用されてきました。

伝統的な美しさを持つ銅板は、長年、日本人に愛されてきた素材です。

銅板の代表的な特徴は、緑青という銅の錆の一種です。緑青が、銅板屋根に発生すると、表面をおおひ、普通の金属のように錆を中まで浸透させないように銅板自体を守ります。この性質のため、ほかの金属屋根などに比べて塗装などが、必要としないすぐれた特性を持っています。

銅板の利点は第一に「軽い」。すなわち地震に強いということです。瓦葺（本瓦棒葺き）坪当たり約700kg（引掛棧瓦葺き）坪当たり約150kgに対し、銅板葺き（t=0.35）は坪当たり14.5kgです。その差は歴然です。

又、銅板は優れた耐久性を持っています。昨今、酸性雨等で銅板のイメージが下がっておりますが、実際には、雨樋や瓦の本谷のように、瓦を通じて落ちた雨が悪影響を及ぼしているだけで、銅板屋根だ

けであれば何ら影響はありません。

銅板にも欠点があります。熱伸縮が大きい事です。伸縮でハゼ（継ぎ手部分）が切れて雨漏りの原因になります。そこで経験と高度な技術が必要になるわけです。

③ お茶室数寄屋建築の銅板葺き、銅雨樋

仕事は主にお茶室の銅屋根、銅雨樋の施工です。全国各地、又は海外で200軒以上のお茶室の建築に携わらせていただきました。屋根、雨樋といっても一軒一軒全て違う形で、お施主様、工務店様によりまして、同じものを作るということはありません。技術的な部分も大変難しく一人前になるには10年以上はかかります。

またお茶室ならではの決まり事も多く知識と経験が必要とします。その経験を生かしそのお茶室に合う銅屋根、銅雨樋を手作りで作らせていただいております。現在74歳ではありますが職人は死ぬまで現役であると思っておりますのでまだまだ頑張っていきます。

④ ハワイ大学寂庵について

2014年にホノルル・ハワイ大学構内にある寂庵というお茶室の銅屋根葺き替え工事に行きまいりました。45年ほど前に日本からの寄贈により建てられた寂庵でしたが周りには多くの木々の枝の落下による損傷で葺き替えることとなりました。大学構内ではあるものの少し奥まった所に日本庭園と共に建設され、名前の通り静寂を感じられる建物でした。

45年前に建てられた建物は数寄屋建築中村外二さんの仕事で、特に屋根の形におきましては最高難易度のものでした。さまざまな曲線を薄く軽く見せる当時の技術は素晴らしいものでした。

葺き替え工事も大変で40日ほどかかり、新築のような輝きを取り戻しました。茶道をするハワイの大学生も増加しているということでしたのでお茶室を新たにし、日本の文化の発展と世界への発信ができる機会になりました。